

作成 令和5年9月30日  
摂津市議会議員 松本暁彦

令和5年第3回定例会一般質問

～本会議3日目・令和5年9月27日～ 議事録(抜粋)

## 6 新型コロナワクチンの健康被害に関する市の対応について

### 質疑概要

令和5年9月20日から「令和5年秋開始接種」による新型コロナワクチン XBB.1.5 の接種が開始された。ただ、これまでにワクチン接種による健康被害が極めて異例な数であり、269件の死亡認定（令和5年9月22日時点）も出ており、デメリットしかないと思われる状況である。それにも関わらず接種を続ける現状に対して、市として市民の命と健康を守るためにどうすべきか、質疑を行った。

### ○松本議員

6 新型コロナワクチンの健康被害に関する市の対応について、まず新型コロナワクチン接種での健康被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。

それでは令和5年秋開始接種の予約状況等についてお聞かせ下さい。

(略※)

### ○福住議長

保健福祉部長

### ○保健福祉部長

「令和5年秋開始接種」についてのご質問にお答えいたします。

9月20日から開始されました「令和5年秋開始接種」では、「令和5年春開始接種」を受けられた方のうち、接種から3ヶ月が経過する約12,700人に、新たな接種券を発送しております。予約の受付状況につきましては、電話による予約受付開始時に、一時的に混み合うこともございましたが、接種を実施する市内医療機関のご協力により、予約枠を十分に確保できており、接種を希望される方の予約を概ね受付できている状況でございます。

なお、新たに生後6か月に到達した乳幼児については、接種の努力義務等の公的関与が無くなったことから、希望申請制として対応しております。

(略※)

## ○松本議員

最後に健康被害について、予約状況等については理解しました。乳幼児に関しては申請制に変更されたのは評価致します。

次に新型コロナワクチンに関する予防接種健康被害救済制度と健康被害の状況について、最新の審議結果の内容も合わせてお聞かせ下さい。

## ○福住議長

保健福祉部長

## ○保健福祉部長

お答え致します。新型コロナワクチンにかかわらず予防接種につきましては、感染症を予防するために重要なものですが、副反応による健康被害はごく稀ではあるもののなくすることができないことから、国による救済制度が設けられているところでございます。

新型コロナワクチン接種に係るものとしましては、9月22日時点で全国の自治体から国に8,929件の進達がなされ、国の専門審査会において審査されたもののうち、認定が4,350件、否認が605件と言う結果になっております。

また直近の審査部会においては79件が審議され、認定が74件、否認が3件、保留が2件で、認定のうち請求内容別では死亡一時金等が50件、医療費等や障害年金が24件となっております。

## ○福住議長

松本議員。

## ○松本議員

直近は10代の死亡認定も2件あります。新型コロナワクチン接種による健康被害が現在進行形で起きています。

そこで、健康被害の周知方法、情報の入手が困難な人への市の対応について、お聞かせ下さい。

## ○福住議長

保健福祉部長

## ○保健福祉部長

健康被害の周知方法につきましては、接種券発送の際に同封すること厚生労働省の提供資材において、ワクチンの効果・副反応のリスク・予防接種健康被害救済制度についての情報を対象者にお知らせしているほか、市からの案内につきましても、接種における注意点をまとめた市ホームページを確認しやすいよう見直しを行っております。

また、同封物の確認に個人差が生じることも考えられるため、副反応を含め使用するワクチンに関し、国が提供する説明書を市内医療機関に配布し、接種を受けられる方へ事前にお渡しいただくよう依頼しており、接種による感染・重症化予防の効果と副反応リスクを理解の上、接種いただけるよう取り組んでおり

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]

ます。

○福住議長

松本議員。

○松本議員

周知方法はまだまだ不十分と感じます。前回の議会で提案した市の接種券案内に健康被害情報の具体的内容は記載されず、QRコードのみで、高齢者の多くはしっかりと見られているか疑問です。健康被害の情報は接種判断に極めて重要な情報であり周知徹底すべきものに関わらずです。

改めて市の健康被害の認識についてどうお考えかお聞かせ下さい。

○福住議長

保健福祉部長

○保健福祉部長

新型コロナワクチンの接種後においては、一時的な発熱や接種部位の腫れ・痛みなどの副反応が比較的多く生じることが知られており、また稀でございますが副反応による健康被害が生じることがあります。

本市としましては、正確な情報を基に市民がワクチン接種について判断いただけるよう、市ホームページにおいて健康被害救済制度に関する情報発信するとともに、国が公表する健康被害の認定状況等も確認しやすい構成としているほか、市内医療機関でのワクチン接種に関する説明書の配布を含め、引き続き市民への情報提供、周知に取り組んで参ります。

○福住議長

松本議員。

○松本議員

稀と言われる副反応によって9月22日時点で死亡認定269件を含む健康被害 4,350 件が認定され、約4千件が審理待ちという状況です。薬害エイズは被害者1,400人以上、MMR ワクチン接種による無菌性髄膜炎 被害者 1,800 人といった薬害の被害者を上回る数字であり、極めて異例な数字といえます。

改めて市の救済制度申請件数の現状と、また救済制度の利用促進の為、健康被害の状況を把握するために調査を行う必要があると考えますが、市の見解をお聞かせ下さい。

○福住議長

保健福祉部長

## ○保健福祉部長

令和3年に新型コロナワクチン接種が開始されて以降、現在までの間、市における救済制度申請件数は5件ございます。

新型コロナワクチン接種後の副反応やその疑いについては、救済制度の申請受付分を市、および進達を受けた国が、医師等の専門家による調査審議を行っているほか、国においては副反応疑う事例を医療機関から収集し、厚生労働省の審議会で専門家の評価が行われております。

市が新型コロナワクチンについての健康被害調査を独自に行う予定はございませんが、引き続き国において公表される専門家による評価等を注視して参ります。

## ○福住議長

松本議員。

## ○松本議員

本市でも健康被害の進達が増加しています。

私はこの問題を最初に取り上げたのは昨年第2回定例会です。昨年6月23日時点では健康被害認定は849件でしたが、今や4,350件の認定があり、そして高齢者だけでなく10代~20代といった若い世代も健康な人も亡くなっています。

私は市民の命と健康を守るうえで強い危機感を抱き、対応を提言してきましたが、まだ危機感を理事者側とまだまだ共有できていないといえず、私は力不足を感じるばかりです。

とは言えど、市民を健康被害から守るために提言は続けなければなりません。令和5年8月31日付けの厚労省資料によると秋接種用のファイザーのワクチンXBB.1.5はこれまでの健康被害を引き起こしている起源株ワクチンの同品質とされ、実験はマウスのみという実態です。接種が続く限り、健康被害が止まることはありません。

国資料では、昨年8月時点でインフルエンザよりも致死率・重症化率が低いとされ、それ以降、毒性が強まったという情報は知りません。あれば教えて頂きたいと思います。インフルエンザよりも毒性が低いものに対して、救済制度始まって最多の死亡認定、最大の健康被害を起こしているワクチン接種は、安全性を追求すべき段階で、もはや重症化リスクの低い若い世代だけでなく高齢世代についても、デメリットしかないと考えます。健康被害にあわれた方、遺族方の苦しみ、悲しみがインターネットでも一部報道でもあふれています。

国の対応はおかしいと言わざるを得ません。市としても、国の救済制度があるからそれで十分というものでなく、現在、そして将来において大きな禍根を残すものと認識し、真摯に市民に寄り添い対応すべきですが、市長の見解をお聞かせ下さい。

## ○福住議長

市長

## ○森山市長

松本議員の質問にお答え致します。やっとコロナウイルスの全ての規制が解かれ、一応、平常の生活様

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]

式に戻ったと言われております。ただ、形だけは確かに戻りましたが、ご指摘のようにコロナウイルスの副作用といいますか、影響といいますか、あちこちで聞かれる分けてあります。

ただ、このワクチン接種につきましては、国の受託事業といいますか、義務といいますか、今後も色々な影響があるにせよ、市民の皆さんには通知をしていかななくてはなりません。

ただ、その時に非常に深刻な健康被害が出ていることを、丁寧にお知らせを同時にしていく、これは大切な事ではないかと思っています。

今後もワクチンはまだ続いていくと思いますが、いずれにいたしましても、仰ったように将来に禍根を残すことの無いように、市としてどういう形で可能なのかどうか研究していく必要があるかと思っています。以上でございます。

## ○福住議長

松本議員。

## ○松本議員

ありがとうございます。この異常な健康被害の数字に関して、私は、各種資料は担当部署に全て提供させていただいております。市の姿勢が問われます。

繰り返しますが情報の周知徹底、そして健康被害にあわれた方のアフターフォローを徹底する。そう要望させていただきます。

(音声データ等より作成)

重要と思われる部分には強調を入れています。

※当該質問に関係のない他の質問項目の部分は省略しています。

### <一般質問・項目一覧>

- 1 健都のエリアマネジメントについて
- 2 児童虐待防止の取組みの進捗について
- 3 PFOA 対策の現状について
- 4 市民の命を有事から守る危機管理体制の構築について
- 5 生きる力を育むことについて
  - (1) いじめ対策について
  - (2) 教師不足について
  - (3) コト・モノ体験の重要性について
- 6 新型コロナウイルスワクチンの健康被害に関する市の対応について